

目次

日本の機械化	西松三好	1
協会の事業活動		3
本協会各部会, 専門部会, 建設機械化研究所の動き		
普及部会		5
技術部会		6
施工部会		8
整備部会		8
調査部会		9
水力開発機械化専門部会		9
道路工事機械化専門部会		9
土と基礎機械化専門部会		14
指図書専門部会		18
建設機械損料調査専門部会		19
シールド工法調査専門部会		20
日本建設機械要覧刊行委員会		20
製造業部会		20
建設業部会		21
商社部会		21
サービス業部会		21
技術相談部		21
建設機械化研究所		21
最近の建設機械の海外進出の現況と問題点	五月女 郁雄	25
〔随想〕 機械化の発足	宮沢 吉弘	30
建設省工事における	浅野 茂夫	32
アスファルト舗装機械の使用実態と作業能力	岡田 道弘	32
京王めじろ台団地造成工事の計画と施工実績	塚本 和弘	38
——スクレーパー土工事を中心として——	羽 鳥 忠雄	38

グラビヤ——中央高速道路工事の現況

矢木沢ダム 250 t/hr 複線式索道	佐々木 元	43
〔海外だより〕 コロンブス景気	大村 久吉	48
ヨーロッパとところどころ	加藤 三重次	50
建設機械の見方 (VI)		
—アスファルトフィニッシャの—	建設機械化研究所	53
試験方法と試験結果—		
〔建設業のモータールめぐり〕 (その 10)		
XIX. 不動建設のモータール	北村 恒雄	57
〔建設機械化講座〕 第 50 回 現場フォアマンのための土木と施工法		
XII. 特殊掘削工法 (その 5)		
4. 都市内の路面に作られる作業孔の掘削工法 (2)	小 黒 敏 嗣	59
〔建設機械化研究所抄報〕		
試験研究報告 (No. 27)	建設機械化研究所	63
〔文献調査〕		
San Luis ダムにおける新しい建設機械の効果	施工部会 文献調査委員会	66
ニュース	(編集部)	68
会員消息		70
行事一覧・編集後記	(長尾・坪・石川)	72

◇表紙写真説明◇

米国ルターナー・ウェスティングハウス社製

HAULPAK-30 t リヤードンプトラック

日本総代理店 伊藤忠商事株式会社

表紙写真は電源開発(株)の九頭竜川長野ロックフィルダム建設に活躍する米国ルターナー・ウェスティングハウス(WABCO)社の HAULPAK-30 t リヤードンプトラックである。本機は昭和 41 年 5 月~7 月, 日本総代理店の伊藤忠商事(株)によって 25 台輸入され, 現在この長野ダム現場で鹿島建設(株)によって使用されている。

GM 12 V-71 370 馬力エンジン, アリソン CLBT-5860 パワーシフトトランスミッションを備え, 運転時自重 23,500 kg, 従来のスプリング懸架装置に代わるハイドロエア・サスペンション, V型ベッセル, 小回りの効く短いホイールベースなど多くのユニークな特徴を持っている。

フィリピン, マレーシアのダム現場でも同型のトラックが動いている。